

# 子育て支援だより

## 「子育てワンポイントアドバイス」

### 第131回 「子どものことばの発達と人との関わりについて」

こころの相談員 小林 節子

1歳から2歳にかけて、子どものことばの発達にはいちじるしいものがあります。ではこの時期にことばのゆっくりなお子さんに対して、必死にことばを教え込めばいいのかといえば、そうとも限りません。

子どものことばの発達には様々な環境要因が関係しています。赤ちゃんが母親のおなかにいるときからの周囲の人たちとの愛情あふれる関わりが、実は大切なのです。

あさひ園の「0,1,2歳のクラス」の先生方は『まだことばになる以前の子どもの声を受け止める。子どものスキンシップを大切に子どもを笑わせる。自由遊びの時間帯にひとりで好きな遊びをしている子にも、タイミングよくことばをかける。手遊びや歌を多く取り入れる』など、絵本や紙芝居以外にも子どもとのコミュニケーションを大切にしています。なぜなら子どもは「自分を受け止めてもらえる心地よさ」から周囲の人たちとのコミュニケーションへの意欲を育ていき、それがことばの発達をうながすからです。ご家庭での育児の参考になるのではないのでしょうか。

もちろん子どもが生来持っている特性から、ことばがゆっくりな場合もありますから、ことばの発達の責任が、すべてこの時期に一番関わるお母さんにあるわけではありません。まずは、ことば以外でもお子さんのことで心配や悩みがあったら、ひとりで抱え込まないでどうぞ相談してください。

\*小林相談員は、あさひ園や育児相談にて相談活動を行っています。

## 10月活動報告

### 10/21 7・8ヶ月児健康相談

対象：生後7・8ヶ月のお子さま ※対象のお子さまには個別でご連絡しております。

内容：身体計測、問診・育児相談、お友だちづくり、救急法の演習、離乳食についてのお話



みんな同級生。これからよろしくね！

誤飲時の救急法の  
実習を行いました。

